

6. 街路

市街地における都市計画決定された県道及び市町村道を整備する事業として、街路事業を実施しています。特に、安全で快適なゆとりある道路空間を創出する必要がある路線や渋滞解消等に寄与する路線などを重点的に整備しています。



国際通り線（トランジットモール実施中）

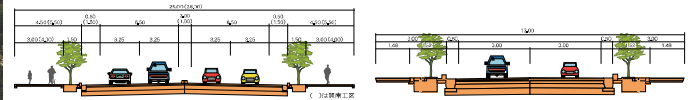
真地久茂地線外1線



(完成予想図)

道路規格	4種1級(真地久茂地線) 4種2級(識名真地線)
区間	那覇市楚辺～那覇市真地
延長	3,710m
設計速度	60km/h(トンネル) 40km/h(開南工区)
車線数	4車線

標準断面図



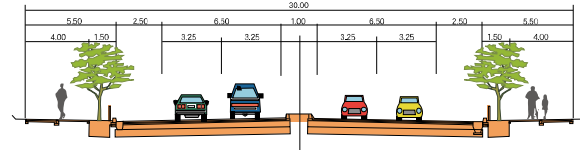
道路の整備

汀良翁長線



道路規格	4種1級
区間	那覇市首里汀良町～那覇市首里石嶺町
延長	1,060m
設計速度	50km/h
車線数	4車線

標準断面図

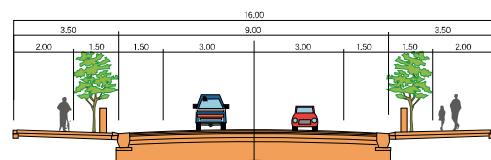


龍潭線



道路規格	4種2級
区間	那覇市首里山川町～那覇市首里汀良町
延長	1,215m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図

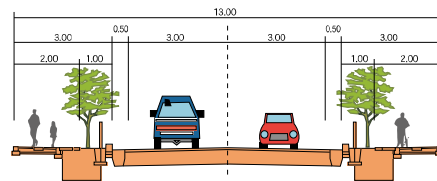


小禄名嘉地線（名嘉地工区）



道路規格	4種2級
区間	那覇市宇栄原～豊見城市名嘉地
延長	860m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図



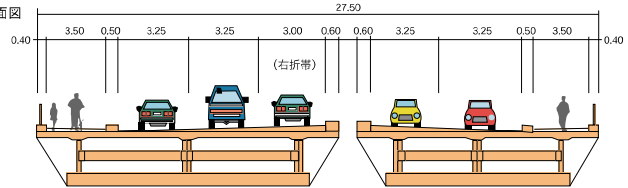
那覇内環状線（那覇大橋）



(完成予想図)

道路規格	4種1級
区間	那覇市古波蔵～那覇市奥武山町
延長	300m
設計速度	40km/h
車線数	4車線

標準断面図



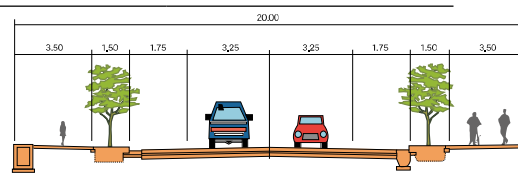
道路の整備

仲井真津嘉山線



道路規格	4種1級
区間	那覇市字仲井真
延長	220m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図

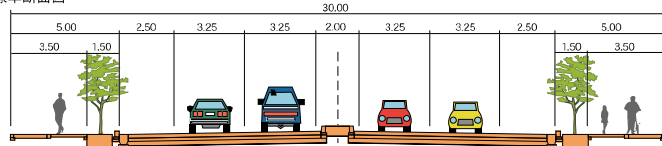


豊見城中央線



道路規格	4種1級
区間	豊見城市宜保～豊見城市真玉橋
延長	2,690m
設計速度	60km/h
車線数	4車線

標準断面図

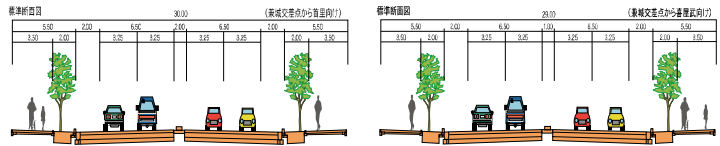


南風原中央線



(完成予想図)

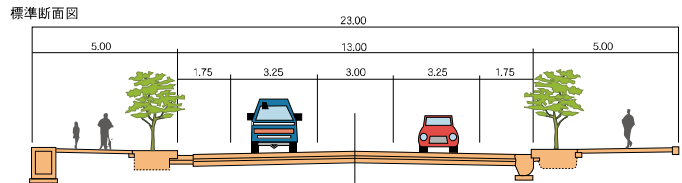
道路規格	4種1級
区間	南風原町字兼城～南風原町字喜屋武
延長	1,310m
設計速度	50km/h
車線数	4車線



糸満与那原線



道路規格	4種1級
区間	糸満市字糸満～糸満市字照屋
延長	970m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

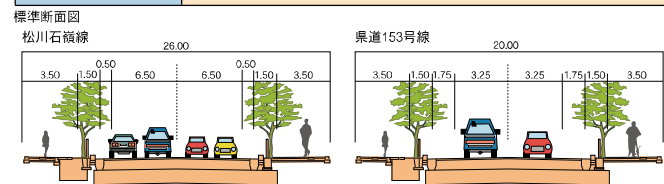


県道153号線外1線



(完成予想図)

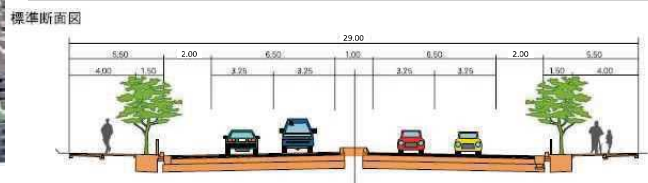
道路規格	4種1級
区間	浦添市経塚～那覇市首里儀保町
延長	1,170m
設計速度	40km/h
車線数	2車線



ひめゆり三原線



道路規格	4種1級
区間	那覇市壺屋
延長	200m
設計速度	50km/h
車線数	4車線

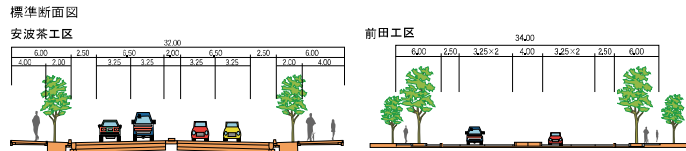


城間前田線



(完成予想図)

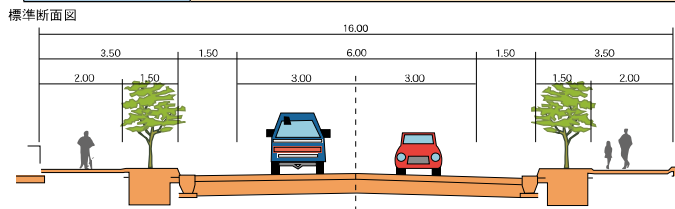
道路規格	4種1級
区間	浦添市安波茶～浦添市前田
延長	1,530m
設計速度	50km/h(安波茶工区) 60km/h(前田工区)
車線数	4車線



パイプライン線



道路規格	4種2級
区間	浦添市伊祖～宜野湾市嘉数
延長	1,832m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

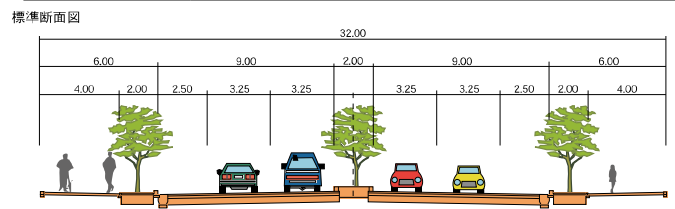


胡屋泡瀬線



(完成予想図)

道路規格	4種1級
区間	沖縄市上地～沖縄市大里
延長	3,090m
設計速度	50km/h
車線数	4車線

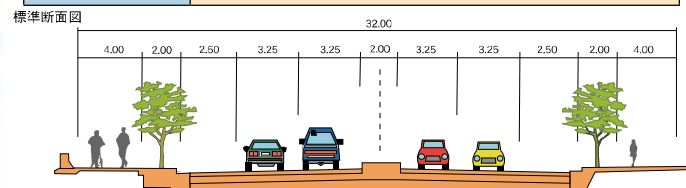


県道24号線バイパス



(完成予想図)

道路規格	4種1級
区間	北谷町字桑江～沖縄市南桃原
延長	1,720m
設計速度	50km/h
車線数	4車線

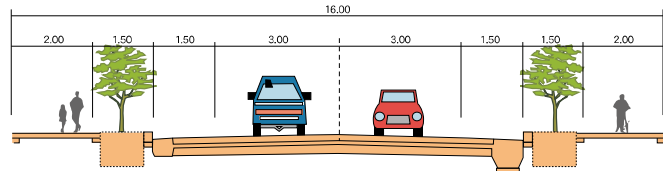


伊差川線



道路規格	4種2級
区間	名護市大中～名護市伊差川
延長	2,550m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図

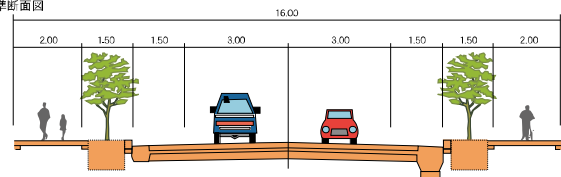


マクラム通り線



道路規格	4種2級
区間	宮古島市平良字西里～宮古島市平良字下里
延長	995m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図

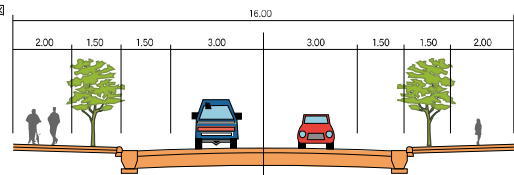


市場通り線 (西仲宗根)



道路規格	4種2級
区間	宮古島市平良字東仲宗根～宮古島市平良字西仲宗根
延長	630m
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図

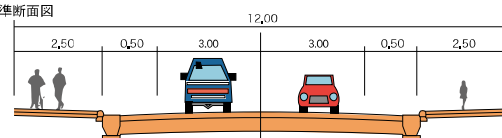


久松線



道路規格	4種2級
区間	宮古島市平良字下里
延長	170m
設計速度	30km/h
車線数	2車線

標準断面図



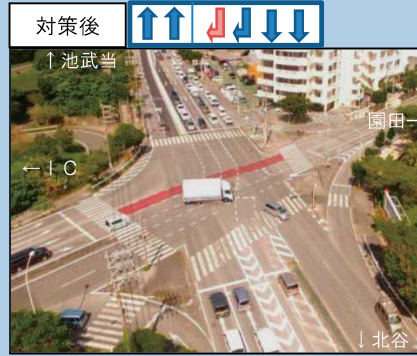
7. 渋滞ボトルネック対策

「沖縄地方渋滞対策推進協議会」において、主要渋滞箇所191箇所(令和4年4月現在173箇所)が特定されており、短期的に対策可能な主要渋滞箇所について「渋滞ボトルネック対策」を実施しています。

沖縄南IC X 85 「沖縄南IC交差点」(右折2車線化)

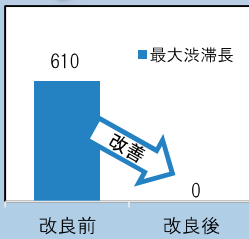


【対策前】池武当方面からICへの右折車線が1車線であったため、渋滞が慢性化



【対策後】池武当方面からICへの右折車線を2車線化

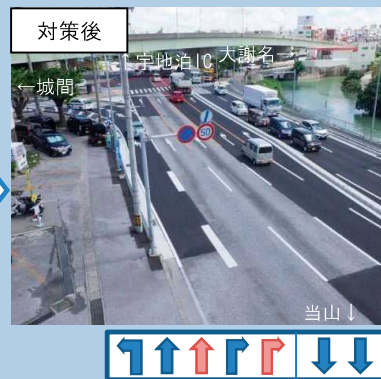
最大渋滞長(右折)
が610m短縮



58 X 153 「牧港交差点」(直進2車線化、右折2車線化)

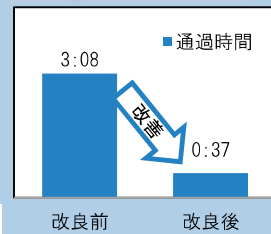


【対策前】県道153号線バイパスから国道58号へ、直進(宇地泊IC)及び右折(大謝名)が渋滞



【対策後】直進2車線化、右折2車線化を実施

通過時間が最大
2分31秒短縮



58 X 330 「旭橋交差点」(右折2車線化)

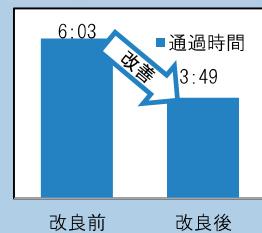


【対策前】国道330号から国道58号へ、直進(西町)及び右折(久茂地)が渋滞



【対策後】右折(久茂地)を1車線追加し、右折2車線へ対策を実施

通過時間が最大
2分14秒短縮



8. 交通安全・無電柱化・道路保全

公共交通安全事業

既存道路において、事故が多発し、緊急に交通安全の確保する必要がある箇所について、公安委員会と連携し、交通安全施設等を整備していきます。

- 歩道、交差点改良、自転車利用環境等
- 道路標識、防護柵、道路照明、視線誘導標等

主要施策

■ 事故危険箇所での集中的対策

幹線道路の安全対策を効率的・効果的に進めるため、特に事故率の高い事故危険箇所において、交差点改良等の事故削減対策を集中的に実施します。

■ あんしん歩行エリアの整備

市街地内の事故発生割合の高い地区において、歩行者等の通行経路の安全性が、歩行者等を優先する道路構造等によって確保されたあんしん歩行エリアの整備を推進します。

基本方針

- ① 幹線道路の事故削減対策の科学的、集中的実施
- ② 生活道路を中心とした歩行者・自転車安全対策の総合的実施
- ③ 通学路における歩道整備の推進



国道507号(八重瀬町伊覇) 公共交通安全事業

平成31年5月に発生した滋賀県大津市において、集団で歩道を通行中の園児らが死傷した交通事故を受け、未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保のため、合同点検を実施し、危険箇所に対して、安全対策を行っております。



対策前

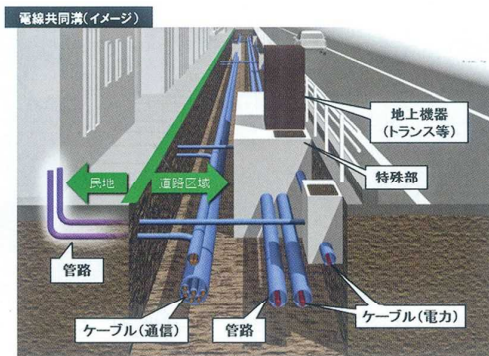


対策後

那覇糸満線(那覇市末吉)公共交通安全事業

無電柱化推進事業

無電柱化推進事業では、安全で快適な歩行空間の確保、都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観の向上等を目的として、電線共同溝などの整備を進めています。特に沖縄県は、台風による電柱の倒壊で道路交通ネットワークや情報通信ネットワークの遮断、停電が発生するといった危険があり、無電柱化の推進は防災の観点からも重要となっております。



(出典：国土交通省ホームページ)



平良城辺線(宮古島市城辺) 平成 15 年台風 14 号で倒壊した電柱



県道39号線国際通り(那覇市久茂地) 無電柱化推進事業

道路防災保全事業

既存道路において、既存の施設をそのまま放置すれば、交通に支障を及ぼす恐れのある箇所について、災害等の発生を未然に防ぐための事業です。



対策前



対策後

南風原知念線(南城市玉城糸数) 災害防除

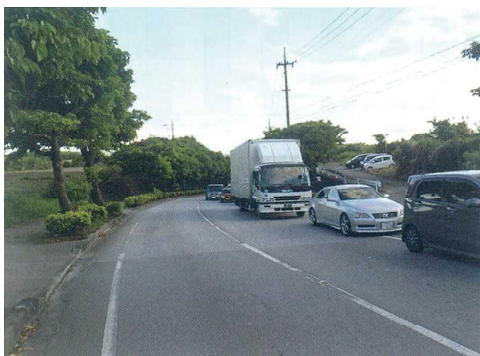
災害防除

道路法面や擁壁、トンネル等、危険な兆候をきたしている箇所について、対策を行います。

道路の整備

道路補修

舗装の性能を一定水準以上に保つよう、舗装面の状態に応じ、部分的な穴埋めを行ったり、面的な打ち替えを行っています。



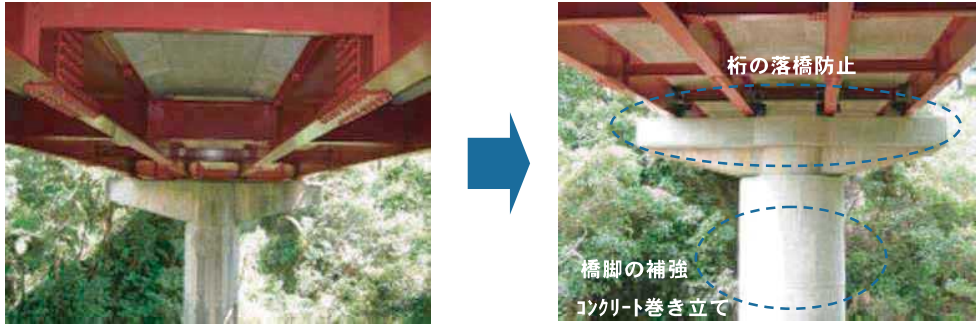
対策前



対策後

橋りょう補修

橋梁の老朽化や塩害等による劣化損傷が原因の崩落事故を未然に防ぐため橋梁の補修を実施しています。また、大規模地震等においても落橋や倒壊などの大きな損傷を防ぎ、安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、古い基準で設計された橋梁の桁の落下防止対策や橋脚の補強など、橋梁の耐震化を推進しています。



国道331号慶佐次橋（東村慶佐次）橋りょう補修

道路の整備

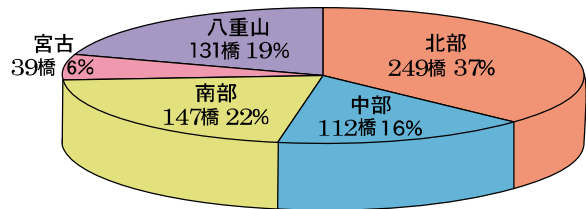
道路橋の計画的な維持管理の推進

これまでに整備された多くの道路橋では、老朽化や塩害等による劣化損傷が多く発生しており、近い将来、修繕や更新費が飛躍的に増加することが大きな課題となっています。県では、修繕・更新の優先度を考慮した「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予算の平準化と橋梁の長寿命化を図るため計画的な維持管理の取組を進めています。

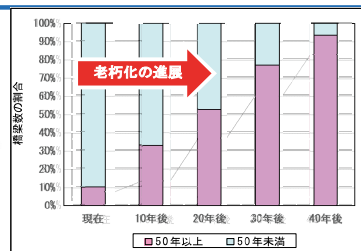


事務所別対象橋梁数

N=678橋

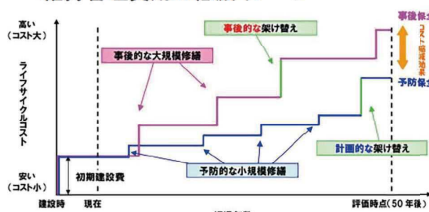


○沖縄県管理の橋梁は678橋（橋長2m以上）あり、建設後50年以上が経過する橋梁は、現時点では全体の1割程度、30年後には約53%と半数を超え近い将来、多くの橋梁に対して大規模な修繕、架け替えが必要になると予想されます。



○従来の対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へと移行し、橋梁の長寿命化および維持管理費用の縮減・平準化を図っています。

維持管理費用の低減イメージ



予算の平準化イメージ

